

特別講演会

主催：先導物質化学研究所

共催：精密有機合成化学リサーチコア

**題目：金属ストロンチウムを用いる Barbier 型
合成手法の開発**

講師：三好 徳和 教授

（徳島大学総合科学部）

（九州大学先導物質化学研究所非常勤講師）

日時：2005 年 10 月 7 日（金）午後 4 時より

場所：理学部化学第 3 講義室（2 号館 2 階 2273 室）

三好先生は有機金属化学や有機合成化学の分野でご活躍中であり、新合成手法や新反応試剤の開発研究を積極的に進められています。本講演では、Sr を用いる有機合成の新展開についてお話いただく予定です。

多数ご来聴くださいますよう案内申し上げます。

要旨：ストロンチウム(Sr)は第 2 族第 5 周期に位置する原子番号 38 の元素、すなわちアルカリ土類金属の一種であるが、同族元素である Mg、Ca や Ba に比べ有機合成反応に応用した報告例ははるかに少ない。演者は、ストロンチウム金属を用いた新しい合成手法の開発の検討を行っており、非常に特徴ある反応を見いだしている。これらに関し、未発表の結果を含め講演する。

連絡先：

九州大学先導物質化学研究所

稲永純二（電話 642-2733、inanaga@ms.ifoc.kyushu-u.ac.jp）

古野裕史（電話 642-2734、furuno@ms.ifoc.kyushu-u.ac.jp）